



庄農通信

校訓 **行学一如** (ぎょうがくいちによ)

令和3年度 第9号
山形県立庄内
農業高等学校

〒999-7601 山形県鶴岡市
藤島字古楯跡221番地
TEL 0235(64)2151
http://www.shonai-ah.ed.jp
令和4年3月22日(火)発行
文責 加藤千恵

<行事予定>

<3月>

- 16日(水) テスト返却
- 17日(木) 合格発表
- 18日(金) 家庭学習日
- 19日(土)
- 20日(日)
- 21日(月) 春分の日
- 22日(火) 基礎力テスト
全国選抜壮行式
- 23日(水) 職員会議
家庭学習日
- 24日(木) 修了式・離任式
- 25日(金) 学年末休業
入学者説明会

26日(土)

27日(日)

28日(月)

29日(火)

30日(水)

31日(木)



<4月>

8日(金) 新任式・始業式
入学式

9日(土)

10日(日)

11日(月) 対面式・部紹介
課題テスト

12日(火) 高校スタートガイダンス
部見学 服髪検査

13日(水)

14日(木)

15日(金) 部登録
PTA理事会

16日(土)

17日(日)

18日(月) 各種委員会
19日(火) 1年貧血検査
尿検査



3/1 令和3年度山形県立庄内農業高等学校卒業証書授与式 自信と誇りを胸に新たなステージへ 48名が晴れやかな笑顔で卒業



一人ひとりに卒業証書を授与

3月1日、山形県立庄内農業高校
令和3年度卒業証書授与式が瑞穂同
窓会長、PTA会長のご臨席を賜り、
厳粛な中にも温かな雰囲気の中で挙
行されました。

新型コロナウイルス
感染症対策の
ため、伝統の
校歌はCDの
演奏による黙
唱となりました



卒業生入場

が、保護者の方々が見守る中、卒
業生一人ひとりに卒業証書が授与さ
れました。自信に満ちた晴れやかな
表情で卒業証書を受け取る姿に3年
間での成長が感じられました。

校長式辞では、先行き不透明な時
代にあっても、卒業生の皆さんには
それを乗り越える力がある、その力
を発揮し、地域のため、社会のため
志を高く持って活躍してくれること
を期待していると、話しました。

体育館の後方には創立120周年記
念で作成した巨大絵が掲げられ、ス
テージ上では、卒業式に合わせて温室
で開花させた桜が他の花々とともに彩
りを添えました。

卒業生を代表
して前期生徒会
長の高橋由伸さ
んが、「様々な
制限がある中
でも全力を出し
切り、ポジティブ



卒業生答辞

で明るい庄農らしく過ごせた」と笑顔
で語りました。「クラスでの時間がこ
れから生きていく糧になる。これか
ら高め合っていくましよう。後輩の皆
さん、一人一人の個性を生かし、庄
農で学んでいることに誇りをもって」
と絆の深さと後輩への思いやりを感じ
させる話に、一同聞き入っていました。

卒業生の皆さんの前途には時として
困難が立ちあはだかることもあるかも
しれません。しかし、自分の力を信じて
たくましく未来を切り開いてくれるこ
とを期待しています。



臺灣 国立苗栗高級農工職業学校へ ビデオレターを送りました

例年修学旅行で姉妹校である台湾国立苗栗高級農
工職業学校に訪問していましたが、新
型コロナウイルス感染症の影響で昨年
度今年度と訪問できずにいます。昨年
度は台湾国立苗栗高級農工職業学校の
先生方からビデオメッセージをいただ
きました。今年度は3年の英語選択者
が、来年は交流できることを楽しみに
しているとメッセージを送りました。



庄内農業高等学校紹介ビデオ
『庄農高！ 庄農さ行くこう！』
QRコード



見てね

3年間皆出席者8名・1年間皆出席者11名・成績優良者8名

3年間の努力をたたえて

功労賞6名・奨励賞16名・瑞穂賞1名 外部団体表彰多数



卒業式前日の2月28日、卒業生の3年間の業績をたたえ、表彰式が行われました。

<功労賞>

奥山晴空
佐藤未来

五十嵐潤
金野成吾

志田陽人
佐藤莉央

<奨励賞>

鈴木力斗
佐藤杜和
今野龍陽
白畑愛羅
押井穂果
高橋由伸

加藤隼人
豊田愛斗
加藤黎空
菅原愛花
小林佳穂

本間大輝
五十嵐史哉
佐藤愛美
齋藤桐葉
佐藤 快

<成績優良賞>

五十嵐潤
阿部真彩
佐藤莉央

佐藤未来
木村美咲
遠田さやか

鈴木力斗
齋藤桐葉

<3ヶ年皆出席賞>

佐藤杜和
木村美咲
白畑愛羅

豊田愛斗
工藤翔太
遠田さやか

松浦華唯
齋藤桐葉

<1ヶ年皆出席賞>

齋藤 蓮
阿部真彩
海藤麻子
佐藤愛美

志田陽人
五十嵐史哉
今野龍陽

鈴木力斗
大川陽生
佐藤直希
橋本梨里香

<外部団体表彰>

産業教育振興中央会長賞 佐藤莉央
山形県産業教育振興会長賞 五十嵐潤
全国農業高等学校長協会賞 鈴木力斗
齋藤桐葉
山形県学校農業クラブ 連盟賞 高橋由伸

後輩に伝えたいこと 進路体験報告会

2月17日、3年生による進路体験報告会が行われました。いつぐらいから進路を考えていたか、試験内容は、達成目指してどうやってがんばったか、などの質問に答えてもらいました。先輩方から後輩へのメッセージ、エールを掲載します。○進路決定は、早めがよい。せめて進学か就職かだけでも方向を定めておくことよい。



○進路決定のためには、長い期間の努力がいるが、小さな目標を立てながら、あきらめずに取り組む。○職場体験では、質問を予め用意して、自分のことを少しでも覚えてもらえるよう工夫するとよいのではないかなと思う。

○卒業後の先輩との連絡を途切れさせずにおくと、相談したり、2年先輩のいる会社に入社希望の時などにアドバイスをもらえたりしたので、人とのつながりを大切にしておこう。

○面接ではマスクをつけているので表情がわかりにくい。表情も緊張で硬くなりがちなので、ひごろから笑顔で挨拶をいろんな人にするようにしておく面接でも生かされる。



○どんなに練習しても、試験当日は緊張するが、たくさん練習すると徐々に落ち着いてくる。備えを十分にしているといい。○何よりも、そこに入りたいという意志を強く持つことが大切。当日うっかり失敗しても、その気持ちがあれば、あとから挽回できるし、緊張も解ける。

～庄内産小麦栽培の可能性を探る～

鶴岡市ビジネスコンテスト特別賞受賞

2月19日に行われた「鶴岡市ビジネスプランコンテスト」で、本校の「課題研究 小麦チーム」が特別賞を受賞いたしました！

このコンテストは、新しいビジネスモデルや地域の魅力を高めるアイデア、鶴岡のブランディングなどの取組みを募集するものです。本校の3年生が課題研究で取り組んでいたテーマを「庄内産小麦栽培の可能性を探る ～庄内産小麦の活用と普及・新世代農業地域を目指して～」と題して発表しました。

オンライン開催のため、メンバーは学校からプレゼン。審査員の方々の質問にも、自信をもって詳しく答えていました



質問に答える 五十嵐潤さん
齋藤 蓮さん、上野琉河さん



テーマに興味のある2年生も同席し、応援しました。



自由登校になってからも準備のために何度も学校に足を運び、担当の齋藤浩紀先生とともに頑張っていた皆さん。結果発表でタイトルが呼ばれたときは「おおー！やったー！！」と喜びを爆発させていました！

まだまだ続く小麦の研究、これからの後輩たちの活躍に期待します！一緒に取り組む仲間を待っています（^^）

コンテスト参加者の皆さま、関係者の皆さま、また課題研究に携わっていただいている多くの地域の皆さま、本当にありがとうございました！

庄農スタイル

雪灯籠作り

